

台湾における現地情報（11月）

令和2年11月2日

Azirian Consulting Ltd.

アンディ チャン（張智鈞）

コロナウィルスについて



10月のレポートに比べ新規感染者は42人増加したが、全て海外からの入国者である。国内の新規感染者は0人を200日以上継続中であり、かなり収束している。隔離解除数も先月に比べ33人増加している。

10月末には例年通り、ハロウィンのイベントが各地で行われたり、LGBTのプライドパレードにおいてはなんと13万人が参加。今年の年越しイベントの実施基準について政府より発表があり、国内の新規感染者が1人でも確認された場合、参加者全員マスクの着用を義務付ける。また、国内の新規感染者が1週間で15人確認された場合、年越しイベントはオンラインによるライブ配信のみになる。

現地の経済情報について

アメリカ大統領選挙の影響もなく、株市場はほぼ横ばいで推移している。台湾では電子産業ビジネスがかなり好調であるが、それ以外にも再生エネルギー関連のビジネスも好調である。太陽光発電だけでなく風力発電や水力発電、蓄電設備などグリーンエネルギービジネスがかなり発展している。

TWSE (台湾証券)	9月末	10月末	ギャップ	備考
株指数	12,515	12,546	0.02%	推移はほぼ横ばい（昨年10月31日時点は11,358）
株市場時価総額	37.60兆元	37.69兆元	0.02%	先月に比べアップ